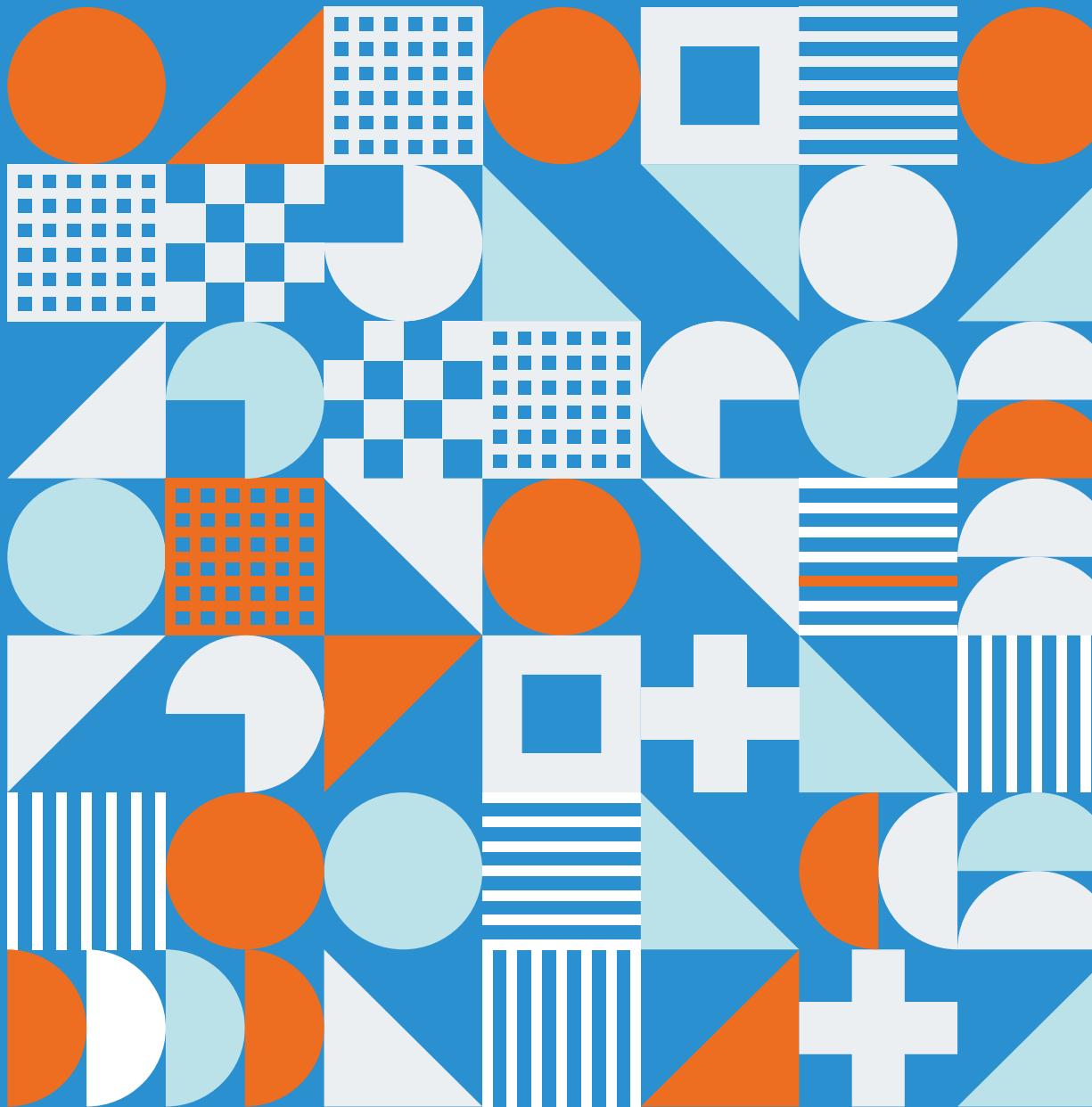


特定非営利活動法人
大学コンソーシアム大阪



2025 The Consortium of
Universities in Osaka

就業体験型プログラム 実施報告書

はじめに

2025年度 就業体験型プログラムを終えて



特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪
キャリア支援部会長 平山 弘
(阪南大学 学長)

大学コンソーシアム大阪では、今年度も関係各位のご協力により、就業体験型プログラムを滞りなく終了いたしました。受入企業・団体関係各位および会員大学関係各位におかれましては、ご多忙な時期にも関わらず、事業実施にご尽力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。

本法人では、2007年より大阪府下の各種企業や団体などのご協力のもと、就業体験型プログラムを開始いたしました。産官学連携によるキャリア支援プログラムとして、会員大学の全学年を対象に、将来、大阪・関西で活躍する人材の育成を目指しています。

実習に参加した学生には、この経験を通じて得た成果や課題を改めて振り返り、今後の学びの深化や主体的な職業選択、さらには職業意識向上への糧としてくれることを期待しております。

今後の事業実施にあたっては、引き続き就業体験型プログラムをキャリア教育の一環として位置づけ、学生の学びに係るサポート体制の強化をはかるとともに、大阪・関西万博を通じて得られた知見や新たなネットワークを活かし、これまで以上に本事業の発展と充実に努めていきたいと考えております。

今後とも、本法人が実施するキャリア支援についてご理解いただき、一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

目 次

I 概要および実施内容

1 概要	2
2 実施スケジュール	3
3 事前・事後研修	4

II 実績

1 学生参加状況	6
2 エントリー企業・団体	8

III アンケート

1 学生アンケート結果	10
2 企業・団体アンケート結果	18

I 概要および実施内容

1 概要

大学コンソーシアム大阪の就業体験型プログラムは、2007年から在阪の企業や官公庁等の協力のもと、学生の夏期休暇期間中に実施している。出願は、会員大学に在籍する全ての学生（院生、留学生含む）に門戸を広げ、職業・勤労観の養成と実社会への適応能力の育成を目指している。

【募集方法】 ポスター、リーフレット、ホームページにより募集

【対象者】 会員大学在籍学生 全学年（院生・留学生含む）

【学生参加状況】 6・7ページ参照

【指導担当者】 インターンシップ推進委員

【エントリー企業・団体】 8・9ページ参照



2 実施スケジュール

日程			大学コンソーシアム大阪事務局	学生	大学	企業・団体		
2月	12日 水 18日 火	事業説明会（オンライン：ZOOM） （→企業・団体）				事業説明会 参加		
3月	中旬 13日 木 24日 月	募集ガイド 送付（→大学） 学生向け情報 発信開始（HP） 事業説明会（オンライン：ZOOM） （→大学）	募集ガイド 受領（大学→）	募集ガイド 配布・周知（→学生） 事業説明会 参加	エントリー			
4月	23日 水 28日 月	企業・団体情報 HP 公開	企業・団体情報 HP 閲覧					
学生向け説明会（オンライン：ZOOM） ※希望者のみ ※後日、アーカイブ配信								
5月	7日 水			出願期間	出願票確認 Web承認			
	23日 金			↓ 5月23日締切				
	26日 月					↓ 5月26日締切		
	28日 水	面接案内 送付（→学生、大学）	面接案内 受領（コンソ→）	面接案内 受領（コンソ→）				
面接 (対面：キャンパスポート大阪・イオンコンパス大阪駅前会議室)								
6月	11日 水 12日 木	選考結果 通知（→学生） 選考結果 通知（→大学） 実習生情報 通知（→企業・団体）	選考結果 受領（コンソ→）	選考結果 受領（コンソ→）	実習生情報 受領（コンソ→）			
	18日 水			実習日程 調整（→企業） 実習日程 報告（→コンソ） 6/18～6/26				
	26日 木			実習日程 調整 (学生→) 6/18～6/26				
	29日 日	事前研修（オンライン：ZOOM）						
7月		三者間協定 手続 ※実習開始までに		三者間協定 手続 ※実習開始までに	三者間協定 手続 ※実習開始までに			
8月				実習期間 8月上旬～9月中旬				
9月	中旬			実習期間 8月上旬～9月中旬				
	下旬			実習日誌・評価表 送付（→コンソ） 実習終了後～9月末				
	28日 日	事後研修（対面：AP 大阪梅田東）						
10月	上旬	実習日誌・評価表 受領（企業・団体→） 送付（→大学）		実習日誌・評価表 受領（コンソ→） 返却（→学生）	調査票 送付（→コンソ）			
	中旬			実習日誌・評価表 受領（大学→）				
12月	中旬	実施報告書 作成・送付 （→企業・団体、大学）		実施報告書 受領（コンソ→）	実施報告書 受領（コンソ→）			

3 事前・事後研修

1) 事前研修 6月29日(日) 10:30~15:00 実施

【場所】オンライン（Zoom）

内 容	目的等
オリエンテーション (5分)	研修スケジュールおよび概要説明。 プログラムに臨む心構えを学ぶ。
先輩に学ぶ 就業体験型プログラム (55分)	実際に就業体験型プログラムを体験した先輩の話を聞くことにより、実習のイメージをつかむ。
	
ケーススタディ (80分)	実習で起こりうるトラブルを具体的に想定。 グループでの意見交換を通じて、事前課題（※）で学んだ内容を振り返るとともに、多様な考えに接し、自身の実習に活かす。
	
目標設定 (40分)	他の学生と目標を共有し、実習に向けて自身の目標を明確にする。

（※）事前課題：以下のオンデマンド動画を視聴のうえ、必要な知識、素養の獲得に努める。

(1) ビジネスマナー・コミュニケーショントレーニング (80分)

ビジネスマナーの基本を学び、対人関係におけるコミュニケーション能力を養う。

(2) リスクマネジメント・企業理解 (40分)

プログラムに参加する意義、職場における基本的ルール、個人情報や営業秘密の取り扱い、SNS利用上の注意点などについて理解し、想定されるリスクへの対応力を高める。

2) 事後研修 9月28日(日) 13:00~16:30 実施

【場所】 AP 大阪梅田東

内 容	目的等
企業講演 (60分)	<p>「企業が求めるこれから時代の人材・働き方とは」について、受入企業側の話を聞き、社会人として必要な能力や行動についてイメージをつかむ。</p> <p>講師：ビーアイングホールディングス 株式会社 株式会社ビーアイング ippo 代表取締役 苗代 弥氏</p>  
グループワーク・発表 (120分)	<ul style="list-style-type: none"> 実習体験とそこから得られた気づきを共有し、自身のキャリア形成にどう活かすかを考える。 実習で得た実体験および前半の企業講演を踏まえ、「社会ではどのような能力や行動が評価されるのか」、「自身に足りないものは何か」についてディスカッションを行い、総括とする。 各グループにおいて「わたしが感じた社会人に必要な力とは」をテーマとして発表を行い、講師からのフィードバックを受け、気づきを深める。  
修了証授与 (10分)	各グループにおいて修了証を授与。

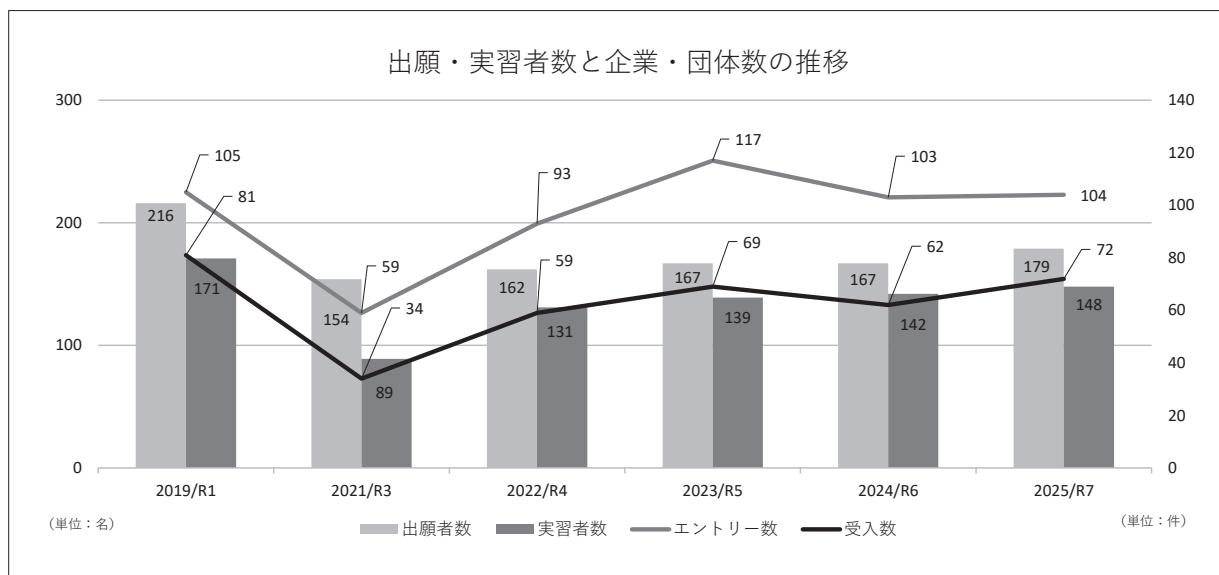
II 実績

1 学生参加状況

■大学別

大学名	出願者数	マッチング 者数	実習者数
大阪大学			
大阪教育大学			
大阪公立大学	2	2	2
藍野大学			
追手門学院大学	13	10	10
大阪青山大学			
大阪医科薬科大学			
大阪大谷大学	1	0	0
大阪学院大学			
大阪観光大学			
大阪経済大学	4	4	4
大阪経済法科大学	1	0	0
大阪工業大学			
大阪国際大学			
大阪産業大学	8	8	8
大阪樟蔭女子大学	1	1	1
大阪商業大学			
大阪女学院大学	2	2	2
大阪信愛学院大学			
大阪成蹊大学			
大阪総合保育大学			

大学名	出願者数	マッチング 者数	実習者数
大阪体育大学			
大阪電気通信大学	122	103	99
大阪人間科学大学			
大阪保健医療大学			
大手前大学			
関西大学			
関西福祉科学大学	4	4	4
近畿大学	3	3	3
四條畷学園大学			
四天王寺大学	1	1	1
摂南大学			
千里金蘭大学			
相愛大学			
宝塚大学			
帝塚山学院大学			
梅花女子大学			
羽衣国際大学			
阪南大学	1	1	1
東大阪大学			
桃山学院大学	15	12	12
森ノ宮医療大学	1	1	1
計	179	152	148



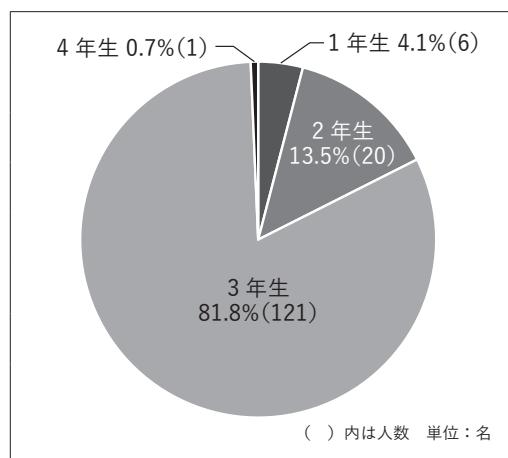
* 2020/R2 年は新型コロナウィルス感染拡大の影響に伴い、中止

■学年別出願・実習者数

単位：名

学年		男子	女子	合計	全体に占める割合
1年生	出願者数	2	6	8	4.5%
	実習者数	1	5	6	4.1%
2年生	出願者数	18	6	24	13.4%
	実習者数	14	6	20	13.5%
3年生	出願者数	126	20	146	81.6%
	実習者数	101	20	121	81.8%
4年生	出願者数	1	0	1	0.6%
	実習者数	1	0	1	0.7%
合計	出願者数	147	32	179	100.0%
	実習者数	117	31	148	100.0%

学年別実習者数



■学部別実習者数

単位：名

学部名	人数
工学部	74
情報通信工学部	21
経済学部	10
総合情報学部	8
経営学部	7
健康福祉学部	4
法学部	3
医療健康学部	2
現代システム科学域	2
国際英語学部	2
国際教養学部	2
社会学部	2
地域創造学部	2
理工学部	2
医療技術学部	1
学芸学部	1
情報社会学部	1
心理学部	1
人文社会学部	1
スポーツ健康学部	1
流通学部	1
合 計	148



2 エントリー企業・団体

エントリー数 104、送り出し数 72

No.	企業・団体名	実習者数
1	Earthink 株式会社	1
2	株式会社アイティープランニング	2
3	株式会社赤鹿建設	0
4	株式会社淺川組	0
5	株式会社尼崎工作所	1
6	株式会社アルトナー	3
7	株式会社 IOBI	1
8	株式会社池下設計	0
9	和泉市役所	1
10	株式会社市金工業社	1
11	株式会社エイジェック	7
12	社会福祉法人永寿福祉会	0
13	エース設計産業株式会社	1
14	愛媛県大阪事務所	0
15	株式会社エフ・ラボ	4
16	有限会社 L プランズ	1
17	大阪司法書士会	2
18	大阪市立生涯学習センター	2
19	大阪信用金庫	10
20	大阪石材工業株式会社	1
21	貝塚市役所	1
22	金井ホールディングス株式会社	1
23	関西福祉科学大学・関西女子短期大学図書館	0
24	株式会社関西マツダ	1
25	株式会社木内計測	1
26	株式会社キクチコンサルタント	0
27	共栄ダイカスト株式会社	1
28	協和テクノロジーズ株式会社	5
29	錦城護謹株式会社	1
30	株式会社近鉄・都ホテルズ ホテル近鉄ユニバーサル・シティ	4
31	グッドタイムリビング株式会社	0
32	株式会社クラックスシステム	5
33	クリアウォーター OSAKA 株式会社	4
34	株式会社グルメ杵屋	1
35	株式会社京滋マツダ	1
36	恵星建設株式会社	0
37	株式会社京阪互助センター	1
38	株式会社 K Produce nice	0
39	株式会社弘電社	0
40	株式会社コノエ	1
41	転ばぬ先の寺子屋 & カースキャリア	1
42	社会福祉法人堺暁福祉会特別養護老人ホーム遊づる	0
43	堺市役所	0
44	堺市立中央図書館	1
45	株式会社サカイ引越センター	1
46	株式会社スーパー・コート	0
47	株式会社スズキ自販近畿	1
48	西武建設株式会社	1
49	生和コーポレーション株式会社	1
50	摂津市役所	2
51	株式会社ソフトム	2
52	大東プレス工業株式会社	1

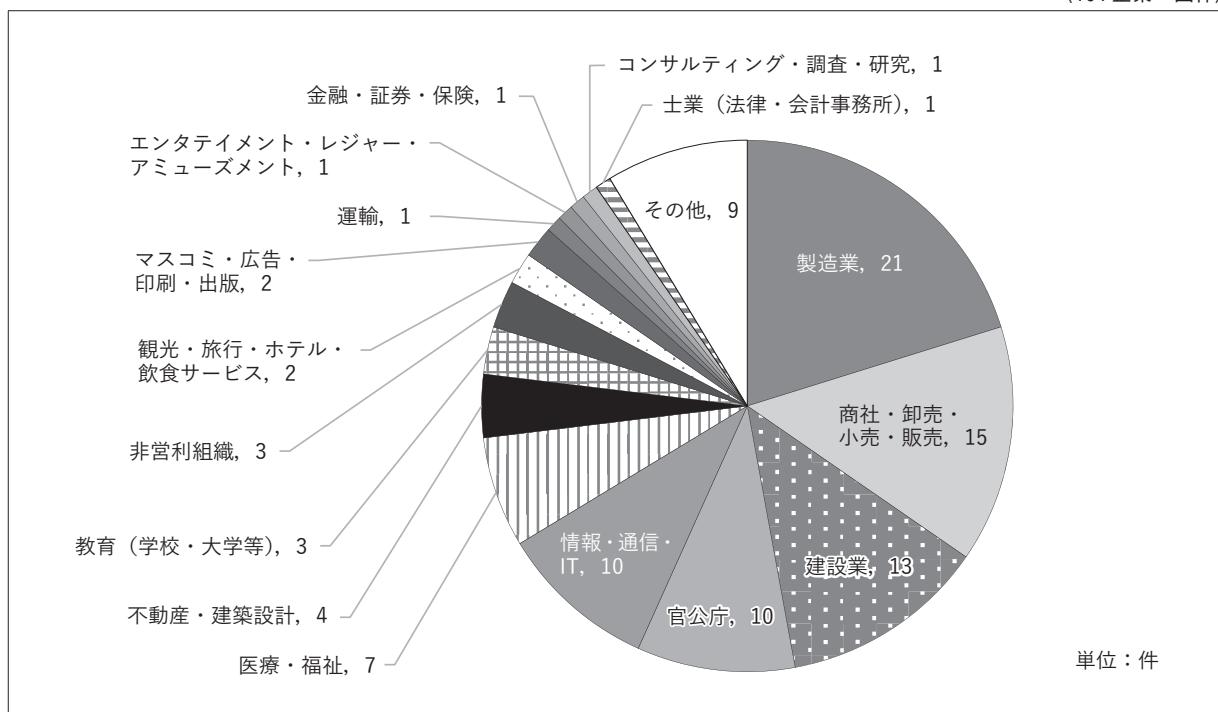
※企業・団体名50音順

No.	企業・団体名	実習者数
53	高石市役所	2
54	学校法人谷岡学園	0
55	株式会社中央電機計器製作所	1
56	中央電設株式会社	3
57	月島ジェイテクノメンテサービス株式会社	0
58	株式会社ディーアクト	0
59	寺崎電気産業株式会社	1
60	株式会社藤堂製作所	1
61	東邦電気産業株式会社	1
62	東洋クリーン工業株式会社	0
63	豊中市役所	2
64	特定非営利活動法人よなが市民環境会議アジェンダ21	0
65	株式会社トレス	1
66	株式会社中田製作所	1
67	株式会社ナカノフードー建設	0
68	株式会社名畠	3
69	ナビオコンピュータ株式会社	2
70	株式会社ナフコ	0
71	株式会社日刊工業新聞社西日本支社	0
72	ニッタ株式会社	1
73	日本エンジニアリングソリューションズ株式会社	2
74	日本スピンドル製造株式会社	3
75	日本ソフトウェア株式会社	5
76	ネットトヨタ大阪株式会社	1
77	長谷川電機工業株式会社	0
78	ビーイングホールディングス株式会社	2
79	NPO 法人ピープルアクティブライフ	5
80	兵庫日産自動車株式会社	1
81	特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センター	1
82	社会福祉法人福生会	0
83	富士金属株式会社	1
84	藤本電業株式会社	5
85	フルタニ産業株式会社	2
86	株式会社ベオスアイティーホールディングス	4
87	社会医療法人ペガサス	1
88	防衛省自衛隊大阪地方協力本部	1
89	社会福祉法人豊年福祉会	1
90	株式会社マイスターエンジニアリング	0
91	株式会社マキシンコー	0
92	松正工機株式会社	1
93	株式会社マルハチ	0
94	三菱電機コントロールパネル株式会社	0
95	村中建設株式会社	0
96	株式会社メガネの金剛	1
97	八尾市役所	7
98	株式会社箭木木工所	0
99	矢野建設株式会社	0
100	ヤマト工業株式会社	0
101	株式会社遊文舎	1
102	由利ロール株式会社	3
103	株式会社ロードカー	1
104	株式会社 one A	3
合 計		148

単位：名
※実習途中の辞退者数 2 名を含む

【エントリー企業・団体 業種別】

〈104 企業・団体〉



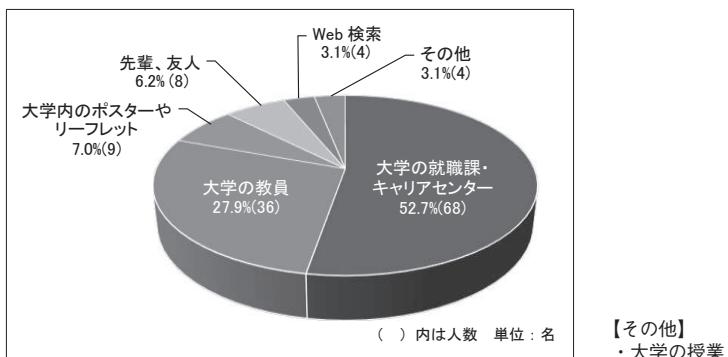
業種	企業・団体数
製造業	21
商社・卸売・小売・販売	15
建設業	13
官公庁	10
情報・通信・IT	10
医療・福祉	7
不動産・建築設計	4
教育 (学校・大学等)	3
非営利組織	3
観光・旅行・ホテル・飲食サービス	2
マスコミ・広告・印刷・出版	2
運輸	1
エンタテイメント・レジャー・アミューズメント	1
金融・証券・保険	1
コンサルティング・調査・研究	1
土業 (法律・会計事務所)	1
その他	9
合計	104

単位：件

III アンケート

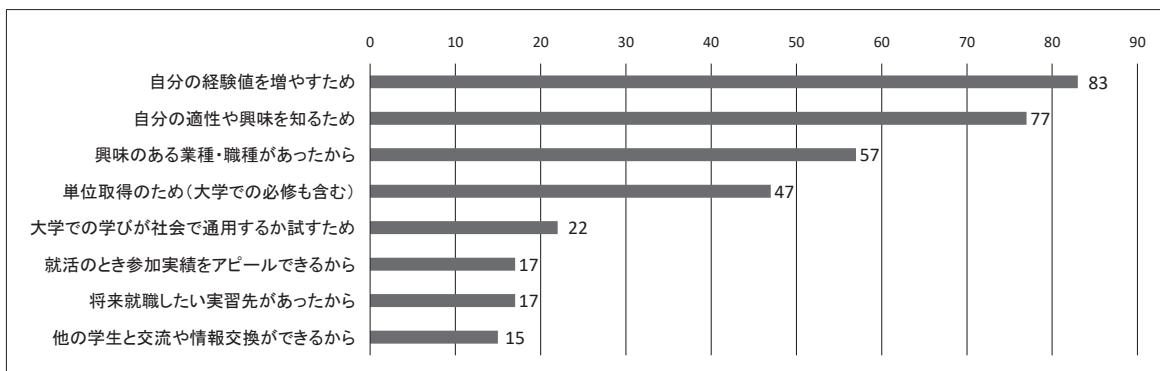
1 学生アンケート結果（回答者数 129 名）

1. 就業体験型プログラムを知ったきっかけ



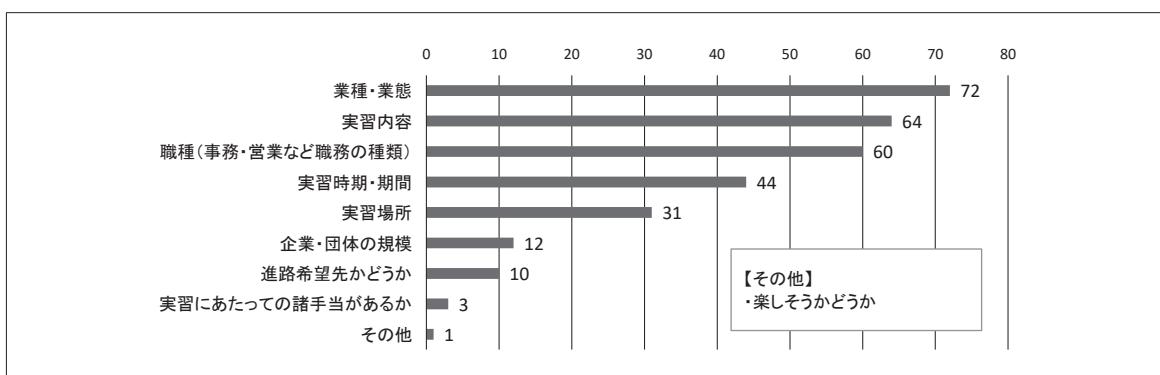
2. 就業体験型プログラムに参加した理由（複数回答可）

単位：名

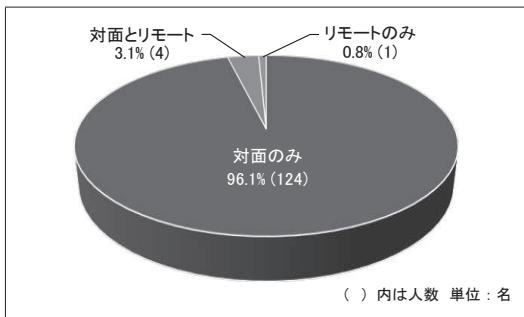


3. 実習先を選択した際の優先事項（複数回答可）

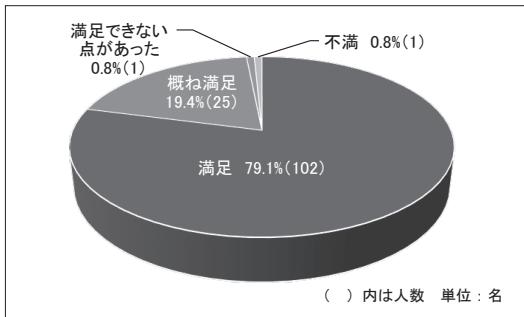
単位：名



4. 実習形式



5. 実習内容の満足度



⇒その理由 (抜粋)

【満足・概ね満足】

- ・現場でしか学ぶことができない貴重な経験ができた。(他25名)
- ・実習先の業種や業務内容、業界について理解を深めることができた。(他16名)
- ・幅広い分野の業務を体験できた。(他14名)
- ・自分に合った職種や適性を理解できることで、今後のキャリア形成のヒントになった。(他10名)
- ・実習先では手厚く指導していただき、質問にも丁寧に答えてもらえた。(他9名)

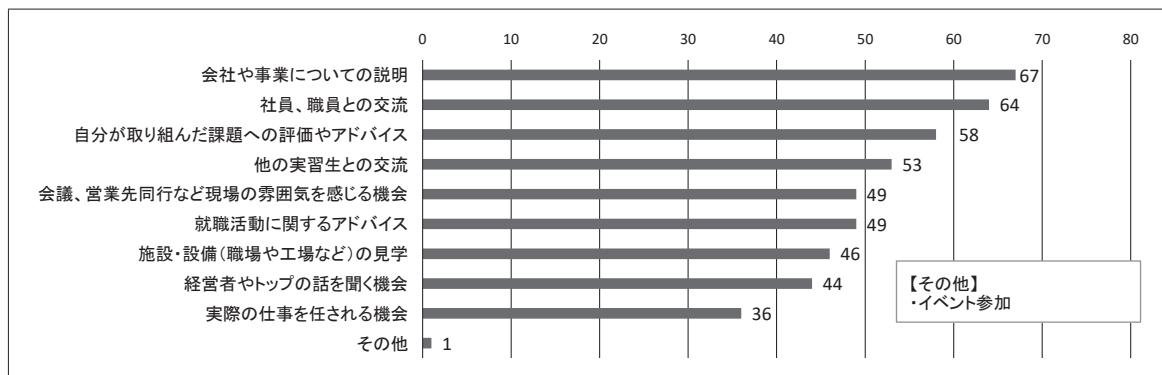
- ・実習を通じて、会社・社会・仕事とは何かを理解できた。(他5名)
- ・自己理解が深まって、今後の課題を発見できた。(他5名)
- ・実践的な知識と経験が得られた。(他5名)
- ・楽しく、充実した実習期間を過ごせた。(他4名)
- ・社会人としての心構えや意識を学べた。(他3名)
- ・就職活動に役立つマナーを習得できた。(他3名)
- ・今までの生活だけでは身につけることのできなかったスキルを身につけることができた。
- ・わずか2週間でこれだけ成長できたことで、今後の伸びしろについても明確になったため。
- ・学生同士や社員の方々と交流を深める機会を多く得ることができた。
- ・これまで内定がゴールと考えていたが、それはあくまで通過点であり、その先の自分をより明確にイメージできているかが問われているように感じた。

【満足できない点があった】※満足・概ね満足と回答したその理由に不満点の記載があった場合を含む

- ・アルバイトのような感じだったから。(他1名)
- ・社会人としての基礎知識や業務に関する仕事を親切に教えていただき、新鮮な考え方を少しづつ取り入れられるようになった。しかし、実習生としてできることには限りがあり、自分が主体的に行動できる機会が少なかったと感じたため。
- ・多くのことを学ばせて頂いたことには満足しているが、内容が文系の学生に合わせたものだったため、理系の学生の場合は少し物足りなくなる時間があった。
- ・実習先企業の業界について知れたのは良かったが、勤務時間が固定されていなかったため業務をこなすのが精一杯だった。
- ・専門的な内容に触れたかったが、実習先ではその事業を行っていなかったため、体験することができなかった。
- ・実習内容には活動と事務があったが、事務があることを把握していなかったため。
- ・他の実習生の話を聞いて、自分の実習先はあまり就業体験らしくないと感じたため。
- ・自身の所属大学においては、5日間の実習期間では単位認定されないため。
- ・思ったようなことが習得できなかったため。

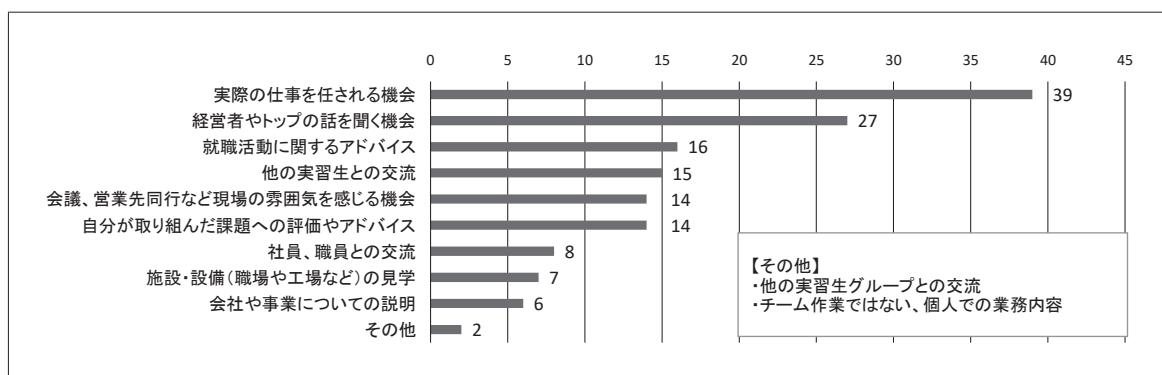
6. 実際の実習内容でよかったですもの（複数回答可）

単位：名

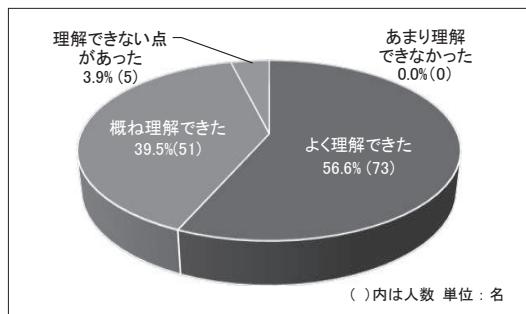


7. 実際の実習内容にはなかった内容で、あればいいなと思ったもの（複数回答可）

単位：名



8. 実習先の業種について、実習前と比べ、どの程度理解が進んだか



⇒その理由（抜粋）

【よく理解できた・概ね理解できた】

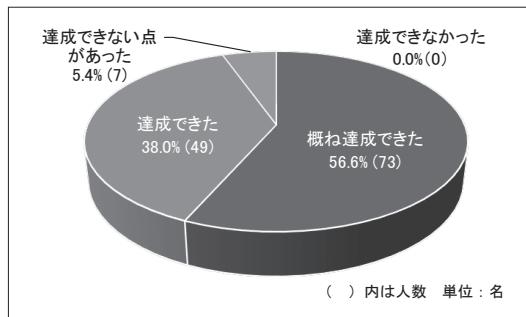
- ・実習先の方が業務内容や業界について詳しく教えてくださったため。(他15名)
- ・実際の業務を体験できたため、よく理解できた。(他12名)
- ・これまで十分に理解していなかったことを、しっかり学べたため。(他8名)
- ・実際に働いている方に直接質問することで、リアルな声を聞けたため。(他7名)
- ・もともと関心があった分野・業界についての理解が深まった。(他1名)

- ・実習先の理念や特色、こだわりに触れることができたため。(他1名)
- ・これまで漠然と「いいな」と思っていた企業での実習に参加したことで、明確な志望理由を発見できた。
- ・今後は志望企業以外にもさまざまなことに触れ、自分に合った就職先を見つけるよう努力しようと考えるようになった。
- ・自分の適性に合った業界や業種を発見できたため。
- ・企業のホームページを見るだけではわからないことまで教えてもらえたため。

【理解できない点があった】※概ね理解できたと回答したその理由に理解できない点の記載があった場合を含む

- ・実習先の業務が一般的かどうかは判断できなかっただめ。
- ・すべてをまんべんなく体験したため、一つひとつを深く知ることはできなかっただ。
- ・実際に入社した後でないと内容が理解できないと感じることが多かったため。
- ・アルバイトのように働いていたため。

9. 実習前に立てた目標はどの程度達成できたか"



⇒その理由（抜粋）

- 【達成できた・概ね達成できた】
- ・コミュニケーション能力を向上させることができた。(他7名)
 - ・積極性を身に付けることができた。(他4名)
 - ・自己理解が進んで、得意分野と改善点が明確になった。(他3名)
 - ・問題解決において意識しておいた方がいいポイントなどを学べた。
 - ・仕事をする上で必要なスキルを学べた。
 - ・社会人の方々がどのような心構えや気持ちをもって働いているかを学べた。

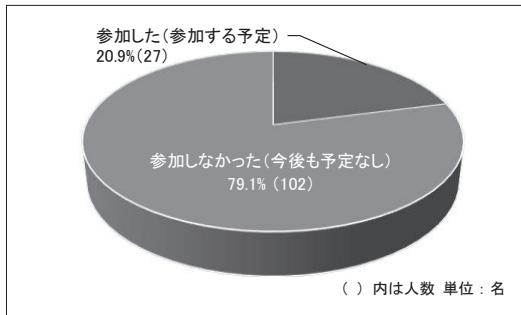
- ・笑顔でやり切ることができ、自身の成長を感じられた。
- ・自分の向き・不向きの確認以外にも目を向ける、良いきっかけになった。
- ・自分の短所を克服することができた。
- ・メモをしっかり取って、質問したいことや理解を深めたいと思っていたことに貪欲に向き合えた。
- ・想像よりも実務を任せていたらしくことができたため。
- ・目標を達成する手段を明確にできた。
- ・時間に対する意識の重要性や社会人に求められるスキルについて、徹底的に学べた。特に社会人としてのスキルについては、マインドを変えることで何が必要かが自然と見えてきた。
- ・実習先について学ぶだけでなく、社会人としてのマナーを学ぶ時間も確保されており、ためになった。
- ・自分の想定と異なることも一部あったが、できることはやれたと感じたため。
- ・完璧とは言えないが社会人について知ることができた。

【達成できない点があった・達成できなかった】

※達成できた・概ね達成できたと回答したその理由に達成できなかった内容の記載があった場合を含む

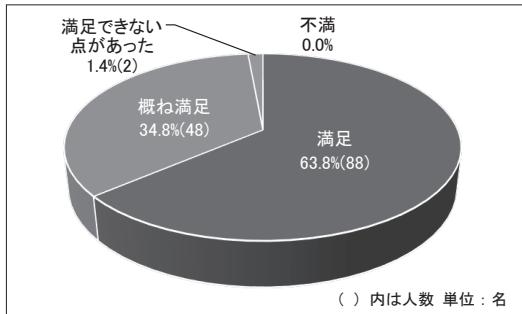
- ・一部は達成できたが、今後の課題も見つかったため。(他6名)
- ・積極的に行動できなかつたため。(他1名)
- ・意見をまとめて仲間に伝えることを目標としていたが、実際に挑戦してみると、他者に教えることは、教えてもらうこと以上に、はるかに大変であると気づかされた。ここで挫けることなく、目標を達成できるよう努力を続けたい。
- ・何度も遅刻してしまったため。

10. 別の同種のプログラムやインターンシップへの参加状況（2025年7～10月）



11. 事前研修（6/29実施）について（回答者数 138名）

【全体の満足度】



⇒その理由（抜粋）

【満足・概ね満足】

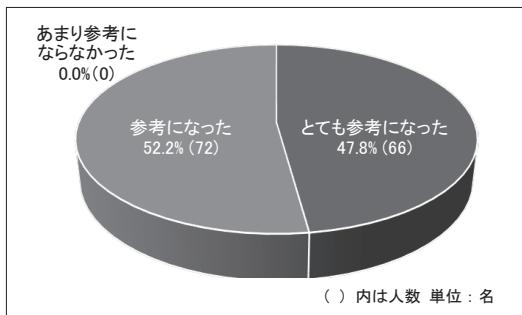
- ・グループワークが充実しており、良い学びになった。(他 26名)
- ・他大学の学生と交流でき、様々な意見を聞くことができたため。(他 15名)
- ・先輩の話が聞けてためになった。(他 9名)
- ・自身と向き合うきっかけになり、改善点を発見することができた。(他 3名)
- ・目標設定の大切さを知ることができ、モチベーションもあがった。(他 3名)

- ・実習に対する不安が解消できた。(他 3名)
- ・大変参考になった。(他 3名)
- ・実習が始まるまでの期間にやるべきことが分かり、事前学習ができた。(他 2名)
- ・コミュニケーションを取る楽しさを知ることができた。
- ・身だしなみや表情に対する気遣いが必要であると感じ、実習先の方に覚えて頂く為に印象を強くしなければならないと感じた。

【満足できない点があった】※満足、概ね満足と回答したその理由に不満点の記載があった場合を含む

- ・グループワークで話し合った内容は良かったが、自分から場を回せてていなかった。
- ・グループワークでチーム内の士気を上げ切ることができなかつたのが反省点だと思ったから。
- ・グループワークで同じ大学同士にならないように、もっとバラバラにグループを分けてほしかった。
- ・内容に対して時間が長すぎると感じた。

【先輩体験談について】



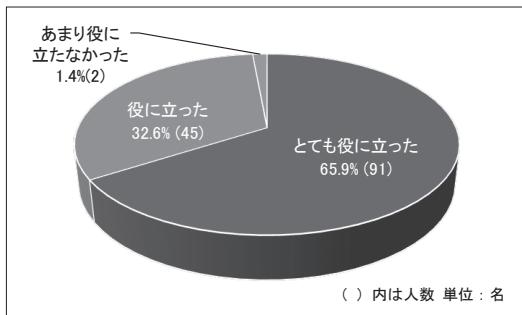
⇒その理由（抜粋）

【とても参考になった・参考になった】

- ・実習前に、どのような準備が必要か知ることができた。(他 10名)
- ・実際に経験した方々のお話を聞ける貴重な機会で、とても参考になった。(他 9名)
- ・失敗談も聞けて、参考になった。(他 5名)
- ・メモを取ることの大切さや、タイミングについて学べた。(他 5名)
- ・実習のイメージや雰囲気、具体的な取り組み方が掴めた。(他 5名)

- ・自身とは異なる実習先についての体験談だったが、参考になったため。(他 4名)
- ・目標設定がしやすくなった。(他 4名)
- ・リアルな体験談で心構えができた。(他 2名)
- ・心配していたことや気になっていたことを聞けたおかげで、不安が和らいだ。(他 1名)
- ・何事も積極的に行動し、自分から正直に伝えるということが重要だと理解することができた。
- ・適性を確認する良い機会だったという話を聞けて、さらに実習への興味が高まったから。
- ・先輩たちの顔が生き生きとしていたので、この実習で得られたものが大きいのだと思った。
- ・自分は何をすれば成長できるのかが理解できたため。

【ケーススタディ・目標設定（グループワーク）について】



⇒その理由（抜粋）

【とても役に立った・役に立った】

- ・グループワークの経験を積むことができ、今後に役立つと感じた。(他 13名)
- ・自分一人では思いつかない意見を聞けて、新しい視点で物事を見ることができた。(他 11名)
- ・グループで話し合うことで、より良い結果を導き出せた。(他 9名)
- ・課題や目標設定に取り組むことで、自分のやるべきことがより明確になった。(他 7名)
- ・自分のことを客観的に見る、良い機会になった。(他 6名)

- ・オンラインでのグループワークを経験でき、コミュニケーションの取り方を学べた。(他 2名)
- ・他人がどう考えているのかが「見える化」されていて良かった。

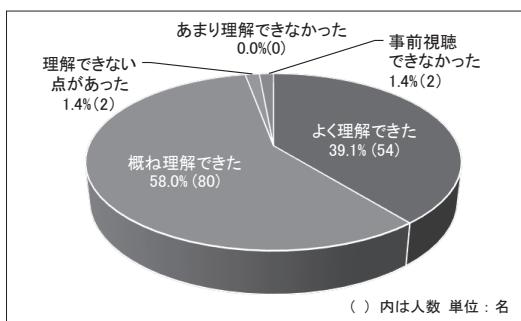
- 対応の仕方について、間違った考えをしていた箇所があったが、講師の話を聞いて改善することができた。

【あまり役に立たなかった】

- 大学で同じようなことを何度もやっていたから。

【事前学習動画の理解度について】

ビジネスマナー・コミュニケーショントレーニング



⇒その理由（抜粋）

【よく理解できた・概ね理解できた】

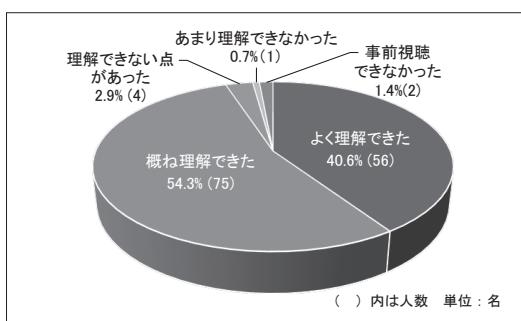
- 基本的なビジネスマナーや言葉遣いを学べて、実習に参加するための事前準備がしっかりできた。(他14名)
- 講師の説明が分かりやすく、よく理解できた。(他7名)
- これまでビジネスマナーを学ぶ機会があまりなかったので、とても参考になった。(他3名)
- 授業などで学んでいたことの復習と再確認ができた。(他3名)
- 自分の理解があやふやだった部分や、間違っていた所に気づくことができた。(他2名)

- 企業の方の視点から実習を捉えることができ、きちんと礼儀を持って参加しようと思える機会になった。
- これから実践していくことで理解を深めたい。
- 難しいところは自分で調べながらできた。

【理解できない点があった】※概ね理解できたと回答したその理由に理解できない点の記載があった場合を含む

- 自分はまだビジネスマナーの基礎が完璧に備えられていないと感じ、不安が残っているため。(他1名)
- 動画が長すぎてあまり内容は覚えていられなかつたが、視聴時は理解できた。

企業理解・リスクマネジメント



⇒その理由（抜粋）

【よく理解できた・概ね理解できた】

- 研修中に問題が発生した時の対処法がよく理解できた。(他6名)
- 企業理解が深まり、今後に活かせると感じた。(他5名)
- リスクマネジメントの重要性について学べ、理解が深まった。(他5名)
- 実習前にプログラムの意義について改めて考えることができ、目標が定まったため。(他5名)
- 説明が分かりやすく、よく理解できた。(他4名)
- アルバイトの経験などから共感できる点などがあった。

- 事前に学習することで、自分の今まで間違っていた所に気づけたから。
- 動画中のクイズなどを通して楽しみながら学べた。

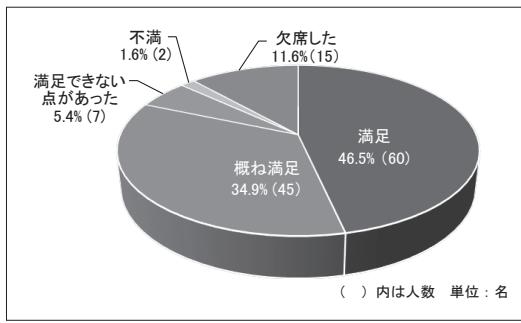
【理解できない点があった】※概ね理解できたと回答したその理由に理解できない点の記載があった場合を含む

- 自身の理解が完璧ではない気がするため。
- 概ね理解はしたが、所々分からないところがあり、調べる必要があったため。

【その他 事前研修を受講した感想や意見】

- 実習先に行くにあたっての不安点の洗い出しや、同じ志を持つ仲間との相互理解を深めることで実習への期待と、向上心を養うことができた。
- 自分が不安ではなく、他の人も不安に感じている部分があると知り、緊張が和らいだ。
- 他の学生と意見交換ができ、自分だけでは思いつかない意見が聞けて考えの幅を広げることができてよかったです。
- 他の実習生とのグループワークや先輩方の話を聞き、自分の考えを違う視点で見ることができた。実習でも自分の視野を広げるために積極的に取り組んでいきたい。
- 自身の目標である「コミュニケーションの幅を広げて情報収集する」ということを実践できて、とてもためになった。
- 指定された時間を有効活用しようとするのはとても大切だと思った。
- 講師の方々が丁寧にわかりやすく説明してくれたのがとても良かった。
- 日頃は自分と関わりのない他大学の学生と話せていい刺激になった。
- グループワークがとても良い経験になった。
- 改めて自分を見直す良いきっかけになった。
- 実習がもっと楽しみになった。
- 業種ごとに「先輩体験談」を聞かせていただける時間が設けられていると、より理解が深まるように感じた。

12. 事後研修（9/28実施）の満足度について



⇒その理由（抜粋）

【満足・概ね満足】

- 自分とは異なる実習先で様々な体験をした人たちの話を聞き、ディスカッションすることで学びを深められた。(他32名)
- グループワークを通して実習で学んだことをアウトプットし、共有することができた。(他19名)
- グループワーク・発表の機会として役立てられたため。(他9名)
- 他大学や、企業の方々との交流機会が得られたから。(他8名)

- 振り返りの良い機会になった。(他4名)
- 企業講演がためになつた。(他4名)
- 実習を振り返ることで、社会人に必要な力は何かを改めて考える機会になった。(他3名)
- 就職活動をする上でも、良い学びになった。(他3名)
- 事前研修時よりもコミュニケーションが取れたため。
- 実習先以外の企業の方からもフィードバックをいただけたため。
- 初めての経験が多く、自分の経験にすることができたから。
- 実習に参加する楽しさを知ることができたため。
- 今回のグループワークは集大成のような感覚で挑み、その成果物に大変満足できた。また、自分の他者からの見方、自身の想像していたものから変化していることにも気づけた。
- 事前研修の際に同じチームだった人と今回も同じグループになり、スムーズに議論を進めることができたため。
- 自分がやりたいことを明確化できたように感じたため。
- 実習の課程が全て終わった達成感を感じられたから。
- 良い経験ができ、自身が成長できたと思ったため。
- 自分自身の得手・不得手を、深く理解できた。

【満足できない点があった・不満】

- グループワークが思うように進められなかつた。(他1名)
- スライドが見えづらかつた。(他1名)
- 体験内容の共有をメインで行いたいと感じたため。(他1名)
- 就職活動において非常に重要な行動や態度を再認識することができたが、グループワークの時間が短く、休憩も取れなかつた。
- 全体研修の会場が狭かつた。
- 全体研修の会場は椅子だけだったので、メモが取りづらかつた。
- 質問が思いつかず、質問できなかつた。
- 内容が薄く感じた。また、誘導感があつた。
- グループワークの必要性を感じなかつた。

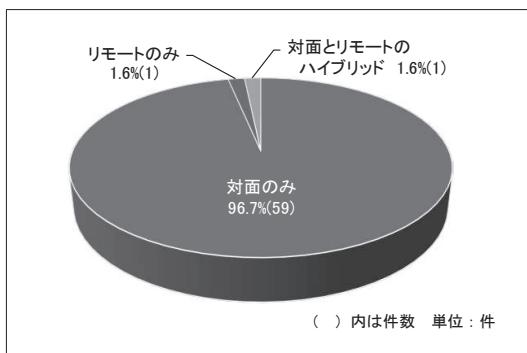
13. その他、今回の就業体験型プログラムについての感想・意見

- 実習に参加するだけで終わりではなく、事前研修や事後研修があり、参加する前と後で自分がどのように変化したかが実感しやすいプログラムだと思った。
- 企業主催のインターンシップと比べて、グループ面接や事後研修など、より多くの体験ができる良かった。
- 実習が始まるまでに事前研修や電話のかけ方などとても丁寧なサポートがあつたため、安心して実習先に行けた。
- プログラムが充実しており、かなり中身の濃い実習生活を送ることができた。
- グループワークでは全員が発言しており、自分自身も新たな考えが知れて良かった。
- 時間が限られた中でグループワークを行つたことで、共同作業の難しさに直面した。しっかりメンバーの話を聞きながら、自分の意見を相手にわかりやすく、端的に伝えることが自身の課題であると感じたため、今後の就職活動においては、それを強みに変えていくよう意識を持って取り組んでいきたい。
- 自身の苦手分野であるグループでの発表は、緊張していたことに加え、発表内容を時間内に自分の中で整理できていなかつたため、満足のいく結果とはならなかつた。改善点としては、自身のグループ発表において社会人に求められる力として取り上げた「常に考え続けること」が重要であると考える。苦手な分野であつても思考を放棄せず、克服に向けた努力を継続していきたい。
- 大学の勧めから参加したが、とても楽しい有意義な体験だった。
- 就職に不安を感じて参加したが、色々な人と話す機会がありとても楽しかつた。
- 実習先では色々な社員の方と関わる機会があり、いい勉強になつた。
- 狭い視野で見ていた業界や職種を広く見られるようになった。
- 自分があまり知らなかつた業界に興味を持つことができたので良かった。
- 社会人として求められるスキルの向上だけでなく、自身の専門分野への理解も深まりとても良かった。
- 10日間という期間で自分の興味がある内容の業務を体験することができて、とても良い経験になつた。

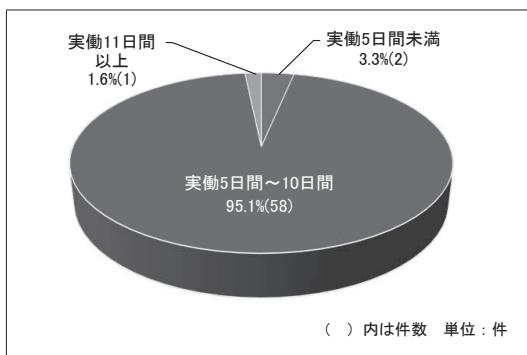
- ・企業への挨拶の仕方や実習先で必須な事など様々な指導が受けられた。
- ・職業について知るだけではなく、今後の就職活動にも役立つ内容で良かった。
- ・今回得られた経験を、これから研究や就職活動に活かしていきたい。
- ・これまでぼんやりとしていた未来について、まるで霧が晴れるように明確に思い描くことができ、就職活動におけるプレーンな軸を見つけることができた。さらに、自分自身の武器や長所・短所を把握することができ、実習終了後の現在もなお成長を実感している。このプログラムには人を変える力があるので、ぜひ今後の後輩たちのためにも継続してほしいと強く感じた。
- ・大学では得られない経験を積めて、自信に繋がった。
- ・ここでしかできない経験ができ、たくさんの学びを得ることができた。
- ・研修は良かったが実習先が不満足であった。
- ・非常に大事な事を学べたが、実習先以外の時間が長く、事前研修や事後研修がしんどかった。

2 企業・団体アンケート結果（回答件数 61 件）

1. プログラム実施形式

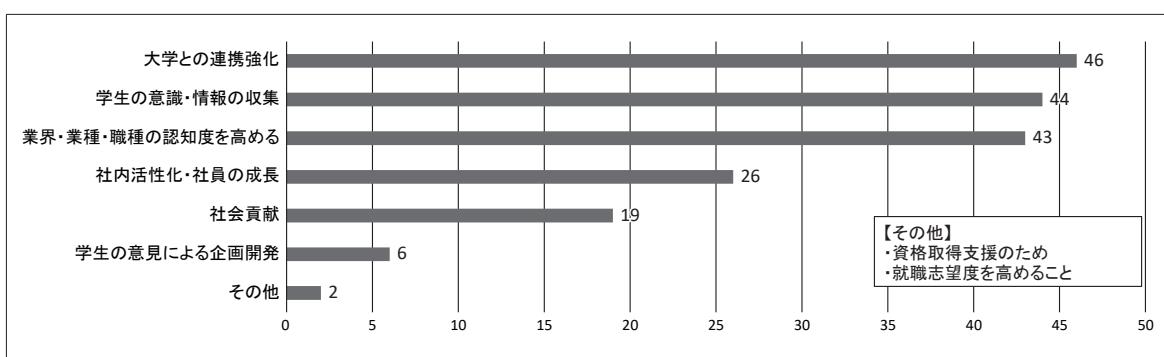


2. プログラム実施日数（実働）



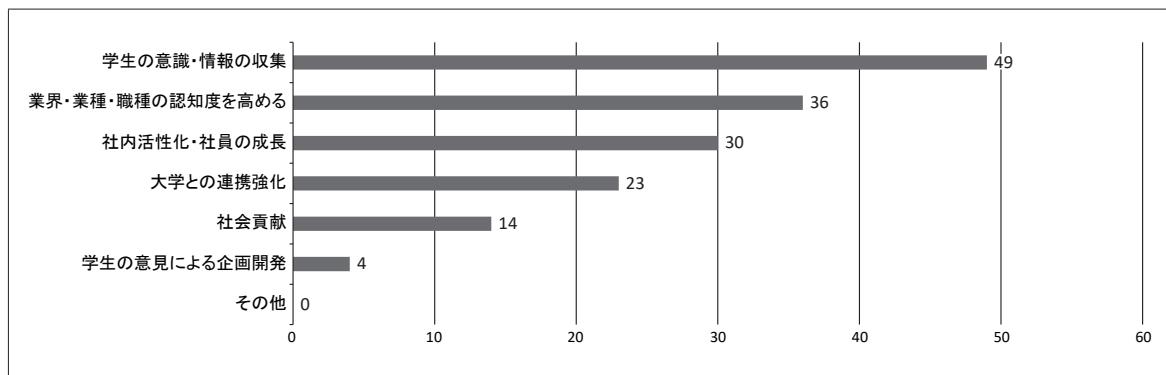
3. 実習生を受け入れた理由やプログラムに期待したこと（複数回答可）

単位：件



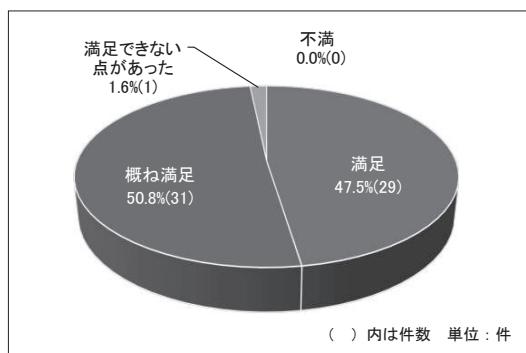
4. 受け入れ後、実際に得られた効果（複数回答可）

単位：件



5. 今回のプログラムに関する満足度について

【全体】



⇒その理由

【満足・概ね満足】

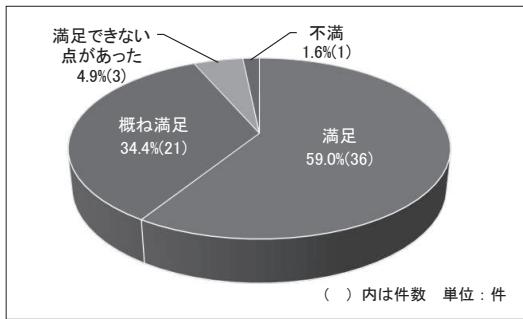
- ・自社の社員の気づきや成長を得られ、スタッフ育成につながったため。(他 5 件)
- ・学生および大学の自社に対する理解が深まったため。(他 5 件)
- ・前向きな学生が集まり、充実したプログラムとなった。(他 5 件)
- ・学生ならではの意見を聞くことができ、様々な視点から改善点や良い点を知ることができた。(他 4 件)
- ・参加学生から高い満足度評価が得られたため。(他 1 件)
- ・事前の連絡やサポートもあり、スムーズに物事を進めることができたため。(他 1 件)

- ・学生の成長が大きく、社内の反響もよかつたため。
- ・想定よりも参加学生が集まり、認知度が広がってきたことが分かったから。
- ・学生がミスマッチなく進路を選択できる判断材料になると感じたため。
- ・事務的負担が軽く、実習期間や条件などに柔軟性があったことで、自社のニーズに合わせたプログラム検討・実施ができた点。
- ・今回、初めて法人営業の体験もカリキュラムに組み込んだ。BtoC と BtoB のいずれも体験してもらったことで、学生の視野が広がったのではないかと思う。
- ・新しい試みもあったが、概ね満足のいくものであったため。
- ・実習生によって、やる気の差は見られたが、気持ちよく実習に参加した学生がいたため。
- ・参加人数が毎年減ってきており、次年度以降は参加者があるかわからないが、参加学生については前向きに取り組んでおり、受け入れ側の活性化にもつながっていると感じるため。

【満足できない点があった・不満】※満足・概ね満足と回答したその理由に不満点の記載があった場合を含む

- ・より多くの学生に参加してもらえるよう、さらにアピールを強化する必要があると感じたため。
- ・前年度よりも自社への参加希望学生が減少していたため。
- ・実習期間の予定が詰まっていた、なかなか実習期間を取れない学生や、実習前に連絡が付きにくい学生がいたため。
- ・一部の現場においては、実習と言うよりは見学になってしまったため。
- ・企業側で記入する資料が多く、学生も把握しきれていなかった。
- ・すでに受け入れ準備を進めていたが、参加が決まってからの辞退者がいたため。

【実習生】



⇒その理由

【満足・概ね満足】

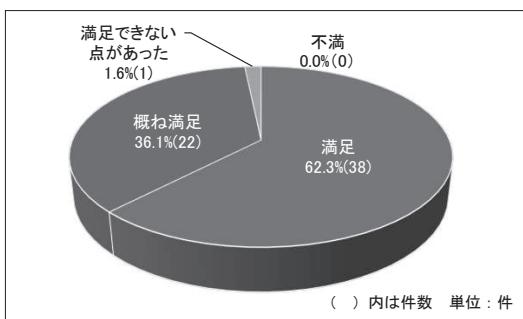
- ・真面目で意欲的な態度で実習に取り組んでいた。(他 8 件)
- ・全体を通して主体的・積極的に参加していたため。(他 6 件)
- ・礼儀正しく、積極的に取り組んでいた。(他 2 件)
- ・無遅刻無欠席で積極的に参加していた。(他 2 件)
- ・他大学の参加者との交流を積極的に行い、実習生同士で助け合う行動もみられた。(他 1 件)
- ・真摯な対応でプログラムに参加しており、実習がスムーズに実行できたため。

- ・朝の挨拶や先輩社員の話を聞く姿勢、実習に取り組む姿勢などが前向きで、問題なく進められたため。
- ・事故やトラブル等なく、無事に終了することができた。
- ・事前連絡や活動時のマナーも良く、高い意欲をもって活動に参加していた。
- ・礼儀正しさと気遣いがあり、立ち居振る舞いや言葉遣いが大変よかったです。
- ・学生目線の事業へのアイデアが大変参考になり、活動中の前向きな姿勢によって成長も感じられた。
- ・イベントの運営に参加した際には、イベント参加者にも笑顔で丁寧な対応ができていた。
- ・ワークショップや日誌の記入などは妥協が先行してしまうことがあり、周りとの関わり方や距離感は、まだまだ伸びしろとして感じているが、伝えたことをしっかりと聞いて課題に向き合うことについては、実習期間を通じて成長を感じられたため。

【満足できない点があった・不満】※満足・概ね満足と回答したその理由に不満点の記載があった場合を含む

- ・しばしば集中力が乏しく、落ち着きがなかった点が少し気になった。
- ・オンラインの欠点でもあるが、「報告・連絡・相談」の中でも特に「連絡」に課題を感じた。
- ・メモを取る習慣が身についていない印象だった。
- ・学生ということもあるが、マナーの部分で少し気になるところがあった。
- ・実習中の自動車移動の際に、疲れがでたのか寝てしまうことがあった。
- ・学生によるが、接客業種に向いていない学生も見受けられたため。
- ・遠方からの参加学生のため、もう少しモチベーションを高く持っているかと期待したが、そうではなかった。
- ・同じ学生が遅刻を 2 回もしたため。
- ・今年の実習生は学習意欲があまりなかったように感じたため。
- ・事前連絡なく遅刻した実習生や、屋外での作業終了後にサングラスを掛けた状態で受付に来た実習生があり、基本的なビジネスマナー以前の実習態度であったため。
- ・会社の備品を紛失した学生がいた。

【事務手続き】



⇒その理由

【満足・概ね満足】

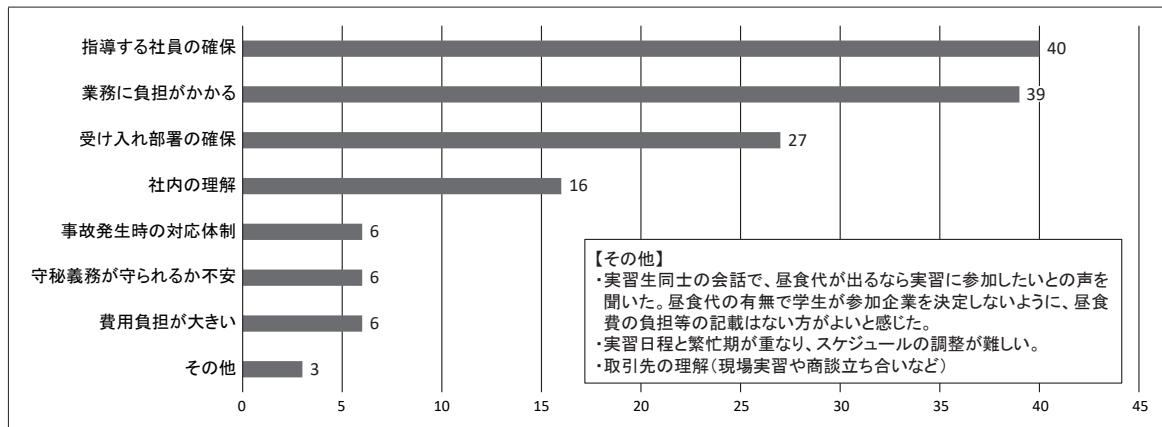
- ・滞りなく手続きを進めることができたため。(他 7 件)
- ・情報の共有が随時あり、スムーズに行えたから。(他 5 件)
- ・受け入れ側において数回のミスが発生したが、その都度、丁寧な対応がなされた。
- ・書類が簡潔で、処理が速かった。
- ・電話連絡もあり、分かりやすかった。
- ・事務手続き内容が、例年ほぼ変わらないため。
- ・事前に何らかの形で顔を合わせる場や、本人の強みや興味が分かる資料があると、プログラム作成上ありがたいと感じた。

【満足できない点があった】※満足・概ね満足と回答したその理由に不満点の記載があった場合を含む

- ・学生情報は Excel のリストのみではなく、出願表も送付してほしい。
- ・学生情報には顔写真がある方がよい。結局、学生本人から写真データを送ってもらった。
- ・学生からの急な電話があり驚いた。事前情報があれば、スムーズに対応できたのではないかと思う。
- ・今年度は 2 名の実習生を受け入れたが、最終日に評価表の学生欄を記入して実習担当者に提出するということを両名とも知らなかったので、その点の周知方法を改善してほしい。

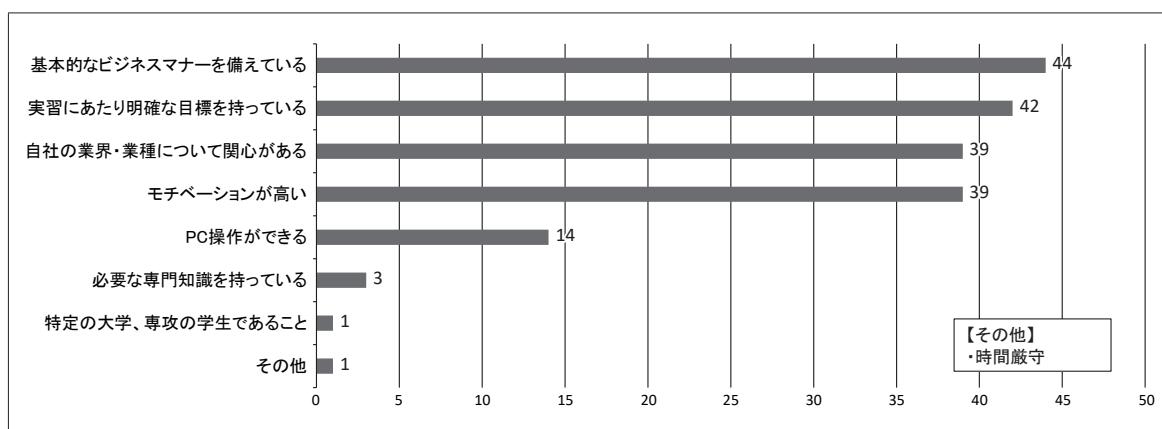
6. 実習生受け入れにあたっての課題（複数回答可）

単位：件

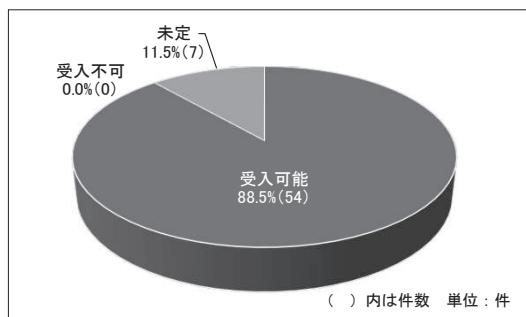


7. 受け入れる学生に求めること（複数回答可）

単位：件



8. 来年度以降の実習生受け入れについて



9. プログラム全般に関する感想・意見・要望

【感想】

- ・学生と出会える機会が設けられたことに感謝している。
- ・自社の実習を知ってもらう機会となり、大変ありがたかった。
- ・今回初めて参加したが、学生の成長や気づきの機会になり、とても有意義な時間となった。ぜひ次年度も参加したい。
- ・今回の参加学生は非常に主体的で積極性があった。プログラム期間だけではなく、その前後までフォローがあり、学生にとって学びになり、企業にとっても安心して受入ができると思う。
- ・本プログラムを通して参加する学生は礼儀正しく、意識が高いと感じている。今後もレベルが保てるよう願っている。
- ・今年度も丁寧な対応で、スムーズに実習が行えた。
- ・他社ではどんな視点で受け入れプログラムを作成しているか、どんな内容を実施しているかなど、参考となる例を学んでいきたい。
- ・募集の際に宿泊の可能性がある旨などの記載が不足していたため、次年度からは記載するように留意したい。
- ・初めての取組みのため、学生に満足してもらえたが気になる。

【意見・要望】

- ・事後研修について、オンラインで参加できるとよい。
- ・実習開始の前に学生との顔合わせの機会があるとありがたい。
- ・進路系業務やボランティアコーディネーションに関する業務を担う方と、情報交換ができる場があるとよい。
- ・毎年、受け入れの準備をしているため、数名は受入ができるように調整してほしい。
- ・大学と社会の違いを事前にもっと教える方がよい。
- ・事後研修での学生への修了証は一人ずつ直接渡すべきと感じた。
- ・夏季のみではなく春・冬時期の開催もあるとよい。
- ・この時代、猛暑・酷暑のため、熱中症など違った対策も実施しなければならない。そのため春先などに実施を変更してもらいたい。
- ・(給与の支払を前提に) もう少し長期のプランがあってもよい。
- ・業界のイメージだけで実習を受けた学生も多く、業務内容や業界に興味を持ってくれると嬉しいが、これまでを見ても就職に繋がっているとは考えられない。
- ・実習生に話を聞くと、自社に関心があるというわけではなく、単位が欲しいために参加したことだった。今後、実習生の選定にあたっては、少なくとも自社に関心がある学生を希望する。

2025

The Consortium of
Universities in Osaka

特定非営利活動法人
大学コンソーシアム大阪

〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-400
大阪駅前第2ビル4F キャンパスポート大阪

📞 06-6344-9560

✉️ career★conso-osaka.jp
※ ★を@に変えてください

🌐 <https://www.consortium-osaka.gr.jp/>

大学コンソーシアム大阪

